Etizen Made

Nippon
生活製作所
LIFESTYLE FACTORY

ソファ暮らし

マルイチセーリング株式会社

USER'S GUIDE

マルイチセーリング製品ユーザーズガイド

このたびは、マルイチセーリング製品を
お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
このユーザーズガイドは本製品を安全で正しくご使用いただくために
「PL賠償共済」・「使用上の注意」・「家具の設置」
「お手入れ方法」・「アフターサービス」
についてご案内しています。
お使いいただく前に必ずお読みのうえ、
大切に保管してくださいますようお願いいたします。

■PL賠償共済について

PL賠償共済制度は、お買い上げいただいたお客様に家具を安心して
お使いいただくための賠償共済制度です。
万一、お買い上げいただいた製品をご使用中、製品の欠陥で
事故が発生した場合は、SA・FUラベルまたは下記に明記されている
（一社）日本家具産業振興会にお知らせください。
お客様と事故との対応をいたします。

SA·FU

販 売 元	マルイチセーリング株式会社
商品番号	製品に添付されているSA・FUラベルをご確認ください。

無断転用禁ず

（一社）日本家具産業振興会　TEL:03-3261-2801
※PL賠償共済はSA・FUラベル添付製品のみ対象です。

■「経年変化」についてのお知らせ

「経年変化」とは＝時間（月日）が経過することで、
品質や性能に変化が生じることを言います。

経年変化を予期する意味で、デザイン、素材選定・構造設計などで経年変化の発生を抑えるよう十分な注意を払っておりますが、下記のような経年変化が発生することがあります、予めご理解願います。

お買い上げ後 様々な変化が発生します、「経年変化」と捉えております。
例えば：ソファの場合、「初期時」より使用頻度により硬さが徐々に柔らかく変化します。

また、表面の張地は（布製・合成皮革・天然皮革に限らず）やや伸びなどが発生しご購入時には無かったシワなどが発生します。

尚、直射日光に当てたり、強い照明（スポットライトのような照明）を長時間当てることで張地表面の色落ちなど変化が発生することがあります。

ご使用時、極端な変化（変形）を避けるためには、一ヵ所に集中してお座りいただくより、出来る限りまんべんなくご使用されることで「部分的変形（異型）」を避けることができます。
※特に座クッション、背クッションの「硬さ」と「形」に変化が現れやすくなります。

リクライニング機能ソファの場合：背をリクライニングさせる頻度によりご購入時と比べ前後の動きが柔らかめになることがございます。

※リクライニングかたさ調整方法については、別に「補足説明書」を他の添付資料などと一緒にセットさせていただいております、ご確認願います。

木製品の場合：（テーブルなど）使用環境により、「反りや干割れ、痩せ」など発生する場合がございます。
木製品は天然素材で、育った環境と使用環境が異なることで様々な予期せぬ変化が発生することがございます。
室内の「温度や湿度、またご使用中に木製部分に水分が沁み込む」なども大きな原因です。
また、直射日光やエアコンの吹き出し口から直接風を当てることは変形する最大要因です。

更に過度に重いものを長時間テーブルの上に置いたり、人がテーブルの上に乗ることは変形の原因になり、また大変危険です。ご注意ください。

※上記の内容や上記以外のことでご不明な点がございましたら、お買い上げいただいたお店またはメーカに直接ご連絡ください。担当者が対応させていただきます。

■使用上の注意　誤った使い方をすると人身事故につながったり、床や他の物を傷つけるおそれがありますので、必ず

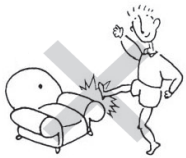
椅子製品全般について

●座面、肘部、背もたれの上で立ったり、飛びはねたり、不安定な姿勢で腰掛けないでください。また、座る目的以外で、使用しないでください。転倒しケガや破損のおそれがあります。

●座った状態で椅子を傾けないでください。転倒し、ケガや破損のおそれがあります。

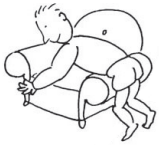
●幼児一人で、使用させないでください。ケガや破損のおそれがあります。

●素肌、特にぬれた体では、座らないでください。カビや汚れの原因になることがあります。



●商品には強い衝撃を与えないでください。ケガや破損のおそれがあります。

●肘掛、座面、背もたれに物をのせないでください。転倒や落下しケガや床面のキズのおそれがあります。



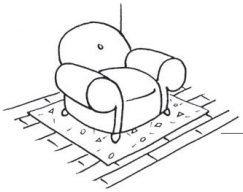
●脚、ネジ、金具類は、時々ゆるみやグラツキがないか点検し、ゆるみはじめたら、締め直してください。ケガや破損のおそれがあります。

●本体取付けのクッション(肘・座・背もたれ)は引っぱらないでください。ほころびや破損の原因となります。

●移動する時は、必ず、座部の下に手をかけ、大人２人以上で床面に引きずらないよう、持ち上げて運んでください。ケガや床面のキズの防止になります。

キャスター付椅子について

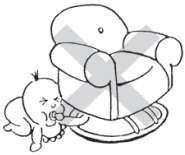
●椅子に座ったまま（又テーブルに座り）激しく動かしたり押して遊んだりしないでください。ケガや、他の物を壊すおそれがあります。



●フローリングや畳など傷つきやすい床面では敷物を敷いて使用してください。床面のキズの防止になります。

●キャスターのゆるみやグラツキを、ときどき点検してください。ケガや破損の防止になります。

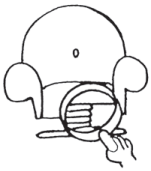
回転機能付椅子について



●回転金具の部分や椅子とのすきまに指を入れないでください。指をはさみケガのおそれがあります。

●回転金具の部分に物をはさみ、回転を止めて使用しないでください。ケガや金具の破損のおそれがあります。

●椅子の中央に腰掛けて使用してください。又、必要以上に前後にゆすったり、回転させ遊ばせないでください。ケガや金具の破損のおそれがあります。



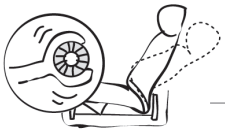
●回転金具のゆるみやグラツキをときどき、点検してください。ケガや破損の防止になります。

リクライニング機能付椅子について

●リクライニング金具や椅子とのすきまに指などを入れないでください。はさみこんでケガのおそれがあります。

●操作するときは必ずまわりを確認してください。接触し、ケガや製品の破損のおそれがあります。

●操作中、無理して過度な力をかけないでください。ケガや破損のおそれがあります。



●リクライニング金具は、ときどきぐらつきや歪みなどがないか確認してください。ケガや破損の防止になります。

●リクライニング金具はご使用中に摩擦音のする場合があります。この場合ドアのチョウバンの開きをよくする場合と同じように市販の潤滑油（シリコンスプレー）を接合部分に塗付してください。

潤滑油吹付け手順

①ソファを後ろ（背もたれ側）にゆっくり倒します。

②左右の○印部の張り地をめくりスチールフレームの接合部分を出します。

③スチールフレームの接合部分の細いすき間に潤滑油を３～４回スプレーして下さい。この時、潤滑油のノズルにつけるストローなどが付属されていればご使用になると便利です。
（潤滑油はプラスチックや金属に使用可能で、べとつかないものをお薦めします。）

④スプレーした後、張り地をもとに戻しソファを起こします。そして、潤滑油をフレームになじませるためリクライニング操作を２～３回繰り返してください。

⑤潤滑油をフレームになじませてもまだ、音が出る場合は①～④をもう一度繰り返してください。

⑥音が出なくなれば完了ですが、それでもなおらない場合はP14のマルイチセーリング生活者対応室までご連絡ください。

①

②

③

●リクライニングの倒れ具合やストッパーのきき具合は使用条件や頻度によってシート毎に変わってきますのでご了承ください。

●梱包を開けた時や倒した状態から過度に背を戻した際、まれにリクライニングしなくなる場合があります。これは、金具がロックしてしまうためで、その場合背をおもいっきり後に倒してみてください。解除されリクライニングするようになります。

布張りの椅子について

●直射日光やスポットライトなどの強い光源、及びストーブのそばやエアコンなどの噴出しの直下などに置くと、光や熱によって変色したり、変形する事がありますのでご注意ください。
●カバーリングを採用している製品の場合、カバーをはずす時は無理に引っぱったりしないでください。ケガや破損のおそれがあります。

●カバーリングを採用している製品の場合、カバーは洗濯表示に従ってメンテナンスを行ってください。

●カバーリングを採用している製品の場合、カバーを外した状態でご使用にならないでください。

●フルカバーリングを採用している製品の場合、使用中にカバーがズレてくることがございます。気になる場合は市販の滑り止めシートをカバーと本体の間にいれることをお勧めします。

●当社ではカバーリングを採用している製品すべてにカバーの買い替えができます。その場合お持ちのソファと同じ生地が廃番になって製造できないこともありますので予めご了承ください。

●小さいお子様による使用や汗など直接付きやすい環境で使用される場合、予めクリーニング店で撥水加工を施すか市販の撥水スプレーのご使用をお薦めします。なお、市販の撥水スプレーをご使用の場合、説明書をよく読み予め目立たない場所で試してからお使いください。

■使用上の注意

誤った使い方をすると人身事故につながったり、床や他の物を傷つけるおそれがありますので、必ず下記内容をお守りください。

ソフトレザー張りの椅子について

●直射日光やスポットライトなどの強い光源、及びストーブのそばやエアコンなどの噴出しの直下などに置くと、光や熱によって変色したり、変形する事がありますのでご注意ください。
●猫や犬などペットのツメなどで表皮がはがれる場合がありますのでご注意ください。

●汚れた場合はP12のソフトレザーのお手入れ方法に従って汚れをおとしてください。特殊な科学薬品などは表面を傷めるおそれがありますので使用は避けてください。

●椅子の上に新聞や雑誌を長時間置かないでください。椅子の張り地に印刷物が転写する場合があります。

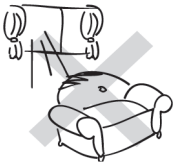
●濃色系のジーンズなどの衣類を着て座ると色が椅子の張り地に転写する場合がありますので十分注意してください。

本革張りの椅子について

●猫や犬などのペットをのせないでください。ツメなどで表皮が傷つく場合があります。

●革は自然のもので動物の成長段階でついたキズやシワ・模様・色の濃淡などが含まれます。予めご了承ください。

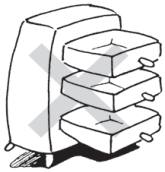
●直射日光やスポットライトなどが長時間あたると変色する場合がありますので、カーテン等で遮断するか布などをかけて表面を保護して下さい。



●革は湿度に非常に敏感です。湿度が高いとカビや変色が生じたり、乾燥すると割れや継ぎ目の切れを引き起こしますので、極端に湿度が高い場所や乾燥している場所での設置は必ず避けてください。

収納付椅子・箱物・テーブルについて

●直射日光やスポットライトなどの強い光源、及びストーブのそばやエアコンなどの噴出しの直下などに置くと、光や熱によって変色したり、変形する事がありますのでご注意ください。
●引き出しや、引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり、無理な力で引張ったりしないでください。ケガや破損のおそれがあります。



●扉や引き出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前に移り転倒し、ケガや破損のおそれがあります。

●引き出しをいっぱいに引き出す時は十分注意して引き出してください。抜け落ち、ケガや破損のおそれがあります。

●扉付の家具は扉の開閉時に物や人にあたらない様に扉の動く範囲内を確かめてから開閉してください。ケガや破損のおそれがあります。

●ガラスを使用した商品は、乱暴な扱いをしないでください。破損しケガのおそれがあります。

●テーブルの上に直接熱いものを置いたり、ぬれたものを放置しないでください。また、テープ類を貼りつけたり、ビニールなどでおおって使用しないでください。塗料が変色したりはがれるおそれがあります。

●テーブルの上に灰皿や食器等底のザラついたものを直接置き、ひきずらないでください。キズつくおそれがあります。

●テーブルを横にしたり壁などに立て掛けないでください。倒れてケガや破損のおそれがあります。

●取りはずしの出来る棚は、棚受具を確実に取り付けてください。はずれ落ちてケガや破損のおそれがあります。

その他の注意事項

●ヘッドレストが可動する製品の場合、上に乗ったり過度に力をかけたりしないでください。ケガや破損のおそれがあります。

●ヘッドレストをはじめスライド金具など可動する金具を永いあいだ使用すると柔らかくなることもありますので予めご了承ください。

●当社製品には狭い部屋などに搬出入しやすいようノックダウンや分解できる製品があります。詳しくは製品によって異なりますので、各製品に添付されている説明書に従ってお取り扱いください。

●椅子類に使用されているウレタンフォームやバネ、綿類は必ずへたりという経年変化があります。とくに椅子や座面や背部表面に使用している綿類は使用頻度によってつぶれやすいので予めご了承ください。

●クッションを使用しているとカバーと中味がずれて、カバーにシワが付いたり変形することがあります。こまめにクッションの形を整えてご使用ください。

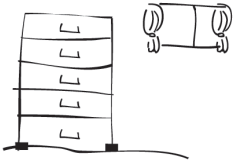
●羽毛を使用したクッションは、こまめに風通しのよい場所で乾燥させてください。また、中味が偏ったりする場合がありますので定期的に全体をほぐすように形を整えることをお薦めします。縮んだ羽毛などが復元し弾力性が戻ります。

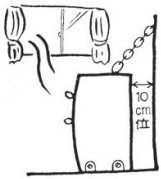
●木部製品の表面には「無垢」と「突板」があります。いずれも天然素材のため、色や木目が製品によって多少ことなりますので予めご了承ください。

当社では、耐久性に富んだバネやウレタンフォーム、綿、クッション材などを採用しておりますが、使用頻度や状況によってクッション性が低下したり表面の張り地にシワが出たりする場合があります。永く快適に使用していただくために5年程度を目安に修理、または中味の交換などをお薦めいたします。詳しくは、購入されたお店または「マルイチセーリング株式会社 生活者対応室」(P14参照) までお問合せください。

■家具の設置　永く快適に使用していただくために、必ず下記内容をお守りください。

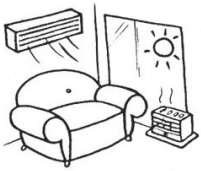
●地震などで家具が倒れ、ケガをする事がありますので、建物の壁・床・天井等に、固定用金物や固定部材でしっかり固定して下さい。又、家具の上に物を置くと落下しケガをする事がありますので置き方にご注意ください。

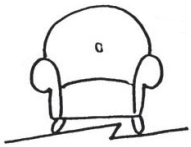




●高温・多湿な部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離し（10㎝位が望ましい）部屋の換気をしてください。

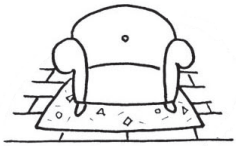
●直射日光やストーブなど冷暖房器の近く（高温、湿度の高いところ）では使用しないでください。火災や製品の変形、カビなどの発生原因となります。





●家具は水平を保つように置いてください。不安定な場所での使用は、製品が歪んだり、破損やケガの原因となることがあります。

●フローリングや畳など傷つきやすい床面で家具を使用する場合は、床面にキズがつかない様に敷物を敷くか、または、脚の底にパット等をあててご使用ください。



●毛足の長いカーペットの上で家具を使用するとカーペットを傷める原因になることがありますのでご注意ください。

●組立てるタイプの製品を移動し設置する場合、必ず解体して移動してください。また、床の上を引きずって製品を移動しないでください。接合部分の破損や床などをキズつける原因になります。

●高さ調節のある製品（アジャスター付）に限り、多少の床面の凹凸を可能な範囲にて調整し、安定させることができます。

●無垢材を使用した製品は、極端な乾燥や湿気の変化に敏感です。ストーブやエアコンなど熱気や冷気が直接あたる場所では、表面が反ったり割れたりすることがありますので安定した環境でお使いください。

布張り地のお手入れ

●塵やほこりなど日常の汚れは、エチケットブラシで軽くブラッシングしてください。
●汚れが付いた場合には時間が経つと取りにくくなりますのですぐに拭き取ってください。ただし、タバコの灰など粉状の汚れはまず掃除機で吸い込んでお取りください。
●簡単な汚れの場合には、ぬるま湯に中性洗剤を10倍程度にうすめ布に含ませ軽くたたくように取ってください。汚れを落した後、洗剤の成分が残らないよう湿った布で同じように水拭きをしてください。
●しみになるようなものをこぼした場合は、応急処置としてティッシュペーパーや乾いた布ではさむように吸い取ってください。その後、ぬらした布で上から軽くたたいてください。
●なお、汚れの種類によっては下記のお手入れ方法を参考にしてください。

汚れの種類	綿	ポリエステル	アクリル
コーヒー 紅茶　お茶	①ぬれタオルでたたく。 ②うすめた中性洗剤液でたたく。	①ぬれタオルでたたく。 ②うすめた中性洗剤液、弱アルカリ性洗剤液でたたく。	
牛乳　卵	①水で絞ったタオルでたたく。 ②ベンジンでたたき、アンモニア水で拭き取る。		
ファンデーション 口紅　ほお紅	①ベンジンを含ませた布でたたく。 ②うすめた暖かい中性洗剤液でもむ。	①ベンジンを含ませた布でたたく。 ②うすめた暖かい中性洗剤液、弱アルカリ性洗剤液でもむ。	
マジックインキ	①ベンジンを含ませた布でたたく。 ②酸素系漂白剤を歯ブラシにつけてたたく。 注：生成りは不可	①ベンジンを含ませた布でたたく。 ②酸素系漂白剤を歯ブラシにつけてたたく。	
ボールペン	①アルコール原液でもむ。 ②中性洗剤を10倍にうすめた液でもむ。	①アルコール原液でもむ。 ②中性洗剤か弱アルカリ性洗剤を10倍に薄めた液でもむ。	

ご注意
■汚れを落す際、つよくこすり過ぎたりたたき過ぎたりして布地を痛めないようご注意ください。
■乾燥させる場合陰干しでゆっくり行ってください。太陽光の下や急激な乾燥は素材の硬化または、変色の原因になる場合があります。
■洗剤などを使用した場合、成分が付着したまま時間が経つと変色したりする場合がありますので注意してください。
■クリーニング方法、汚れの度合い、時間の経過、色等により必ずしも期待通りの結果が得られない場合がありますがご了承ください。なお、綿は特にしみがとれにくいです。
■油性のマジックインキや特殊薬品類、深くしみこんで固着した汚れなどは落ちにくく汚れが残ることがあります。
■濃色の綿素材は、お手入れの際色落ちする場合がありますので注意してください。

ソフトレザーのお手入れ

●お手入れは、年に2〜3回程度を目安に柔らかくきれいな布（以下布とする）で乾拭きしてください。
●軽い汚れがある場合には、水またはぬるま湯（30〜40℃程度）にて拭きとり、その後乾拭きしてください。
●汚れがひどい場合には、中性洗剤をぬるま湯（30〜40℃程度）で5倍以上に希釈し布につけ、かたく絞ったのち丁寧に汚れを拭きあげてください。汚れを落した後、洗剤の成分が残らないよう別の布にて水拭きをし、さらに乾拭きをして水分も残らないようにしてください。
●なお、汚れの種類によっては下記のお手入れ方法を参考にしてください。

汚れの種類	方　法
コーヒー 紅茶	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ汚れをこすってください。汚れの跡が残れば白い布にベンジンを含ませ汚れの跡をこすってください。その後、湯を含ませた布で軽く拭いてください。ただし、淡色系は汚れ跡が残りやすいです。
ボールペン	白い布にベンジンを含ませ汚れの跡をこすってください。その後、湯を含ませた布で軽く拭いてください。ただし、汚れ跡が残りやすいです。
酢・しょう油・ソース ケチャップ・マヨネーズ	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ汚れをこすってください。
ウィスキー	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ汚れをこすってください。ただし、淡色系は汚れ跡が残りやすいです。
ヘアートニック	汚染後、すみやかにぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ汚れをこすってください。
ヘアーリキッド	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ汚れをこすってください。
チューインガム	白い布にベンジンを含ませ汚れの跡をこすってください。その後、湯を含ませた布で軽く拭いてください。
手あかなど 一般の汚れ	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ汚れをこすってください。淡色系は汚れの跡が残れば、白い布にベンジンを含ませ汚れの跡をこすってください。その後、湯を含ませた布で軽く拭いてください。

ご注意
■汚れを落す際、つよくこすり過ぎてソフトレザーの表面を痛めないよう注意してください。
■乾燥させる場合陰干しでゆっくり行ってください。太陽光の下や急激な乾燥は素材の硬化または、変色の原因になる場合があります。
■洗剤を使用する場合変色のおそれがあるため、目立たない部分でのテストをお勧めします。また、使用後、成分が付着したまま時間が経つと素材の硬化や変色しやすくなる場合がありますので注意してください。
■ワックス、溶剤（アルコール・シンナー）などを含むクリーナー、科学雑巾等は表面の光沢をそこなうおそれがあります、また表面劣化（表面剥離）の原因となりますのでご使用は避けてください。
■汚れの度合い、時間の経過、レザーの色等により必ずしも期待通りの結果が得れない場合がありますがご了承ください。
■ソフトレザー（天然皮革も同様）の表面には「汗を含む水分」を残さないようにしっかりと拭き取ってください、水分が残りますと表面劣化の原因となります。

■お手入れについて

永く快適に使用していただくために、日常下記のメンテナンスを行うようお薦めします。

革張り地のお手入れ

●普段のお手入れは、表面のほこりを軽くはたき、柔らかい布でから拭きしてください。
●万一水に濡れたら、乾いたタオルで叩くようにして水気を除き、風通しのよい場所で形を整えて陰干ししてください。濡れた革は熱に弱いので決して高温ドライヤーなどで乾燥させないでください。中まで濡れた革が乾燥すると油分の不均衡より部分的に硬化する場合があります。その場合はベビーオイル、ハンドクリーム又は市販のレザークリームのご使用をお薦めします。
●長期的に保管する場合はカビを防止するために、天気のよい日に表面のほこりを軽くはたき陰干しし、乾燥させてから保管してください。なお、汗やアカが付着している場合は湿ったタオルで拭いてから陰干しすることをお薦めします。
●長期的に保管する場合は高温多湿をさけ日光などが直接あたらない通気性のよい場所に保管してください。また、ビニール袋に入れて密閉しないでください。
●なお、汚れの種類によっては下記のお手入れ方法を参考にしてください。

汚れの種類	方　　法
水溶性のもの (コーヒー・紅茶など)	水で湿らした柔らかい白い布で、汚れがとれるまで丁寧に拭いてください。塩分の多い液体（みそ汁など）の場合は乾燥後、塩の結晶が吹き出ることがありますので念入りに拭き取ってください。十分乾燥したらベビーオイル、ハンドクリーム又は市販のレザークリームのご使用をお薦めします。
油性のもの (サラダオイルなど)	ごく薄い中性洗剤溶液（約１％～３％）を柔らかい白い布に含ませ拭き取ってください。その後、洗剤の成分が残らないよう湿った布で水拭きしてください。乾燥したらベビーオイル、ハンドクリーム又は市販のレザークリームのご使用をお薦めします。
ボールペン クレヨン	柔らかい消しゴムで軽くこすって汚れを取ってください。それでも残るようでしたら家庭用シミ抜きベンジンで軽く拭き取ってください。強くこすると表面を傷める恐れがありますので十分注意してください。
手アカ・汗	手アカや汗で汚れがひどい場合は、ベビーオイル、ハンドクリーム又は市販のレザークリームを使用ください。その場合、説明書をよく読み予め目立たないところで試してからお使いください。

ご注意
■市販のレザークリーナーやレザークリームを使用する場合は、説明書をよく読んで予め目立たないところで試してからお使いください。革の仕上げの種類によってはシミになる場合もありますので注意してください。
■レザークリーナーやレザークリームをつけすぎると色が濃くなったり、色落ちすることがありますので十分注意してください。なお、予め目立たないところで試してからお使いください。
■革はナフタリンなどの防虫剤に直に接すると、変色したり、表面部分がはがれたりする場合がありますので使用しないでください。
■シンナーや酸性、強いアルカリ性の洗剤、靴用クリーム、自動車用ワックスは使用しないでください。変色や変質、表面の破損の原因になります。

木部表面材のお手入れ

●普段のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。
●万一汚れたときは、中性洗剤を3～5%位にぬるま湯でうすめ、柔らかい布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。その後、洗剤の成分が残らないよう湿った布で水拭きしてください。最後に柔らかい乾いた布で軽く拭き日陰で自然乾燥させてください。
●テーブルなどの上に食器など直接置くと表面がキズつく場合がありますのでランチョンマットなどの使用をお薦めします。また、過熱した鍋などを置く場合は変色や変形の原因になりますので必ず鍋敷きなどをご使用ください。

プラスチック・金属部のお手入れ

●普段のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。
●万一汚れたときは、市販のクリーナーを使用するか中性洗剤を3～5%位にぬるま湯でうすめ、柔らかい布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。その後、洗剤の成分が残らないよう湿った布で水拭きしてください。最後に柔らかい乾いた布で軽く拭き日陰で自然乾燥させてください。
●金属部表面の塗装はキズなどによるさびを防ぐ効果があります。万一キズついたりしますと、屋内でも湿気などからさびや表面剥離をおこす原因になりますので、市販のさび止め剤やワックスなどを塗り込み、酸化を防止することをお薦めします。

虫害について

●虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。
●ソファやカーペットなどは、ダニなどの発生を抑えるためにこまめに掃除機でそうじすることをお薦めします。なお、その場合掃除機のノズル等で張り地やカーペットの毛を傷めないようご注意ください。

■アフターサービスについて

品質保証／修理について

●製品に添付の「保証書」の内容をご覧いただき、大切に保管してください。
●修理を依頼される場合はお買い求めの販売店もしくは下記「マルイチセーリング株式会社 生活者対応室」までご連絡ください。

問題が発生したら

●納品後、直ちに商品の数や仕様、サイズ・キズ・破損等の有無を必ずご確認ください。お気付きの点がありましたら納品後8日以内にお買い求めの販売店、もしくは下記「マルイチセーリング株式会社 生活者対応室」まで速やかにご連絡ください。なお、納品後9日以降は有償でのお取り扱いになる場合がありますのでご了承ください。

マルイチセーリング株式会社　生活者対応室
〒915-0256 福井県越前市赤坂町33-8-1　https://www.maruichi1950.jp
TEL 0778-43-0101　FAX 0778-43-1634　E-mail. info@01-s.co.jp
フリーダイヤル 0120-68-1201(8:30～17:30／土・日・祭日・年末年始等は除く)

生活製作所
LIFESTYLE FACTORY
MARUICHI SELLING Inc.

'18-01F